

大学英語講義における英作文指導実践報告

著者	常名 朗央
雑誌名	大妻女子大学英語教育研究所紀要
巻	3
ページ	201-213
発行年	2020-03-16
URL	http://id.nii.ac.jp/1114/00006885/

【報 告】

大学英語講義における 英作文指導実践報告

常 名 朗 央

本論は、2018 年から 2019 年までの二つの大学における英語講義にて実践した英作文指導の報告と指導提案をまとめたものである。下記は学生たちの解答を集計して数値化したデータであるが、誤答にも共通の癖があることを見つけれられたのは発見であった。

実践報告①

時期：2018 年 6 月

対象：都内理系大学生，Toeic スコア 350 以上が受講条件

人数：26 人，男女比 7：3

特記：全 7 問，辞書を使わずに 1 問ずつ，2～3 分で解答させる。

英作文①「今朝六時に起床しました」

I got up at six (o'clock) this morning. (16 人正答)

およそ 6 割の学生が正答に達したが、間違いの多くは時制に気を配らないことが挙げられる。動詞では、I get up (6 人)，I wake up (3 人)，さらには I waked up (2 人) と間違えたままで覚えてしまっている学生もいた。

I am getting up (1人) と書く例もあった。細かいところでは six を 6 と書く例が 6 例あり (6:00a.m. ではなく 6 しか書かない), 特に技術英語に触れる機会が多い理系の学生が対象であるので, ルールに則って基本的に 10 まではアルファベットで書くことを徹底させる必要があると感じた。

英作文②「彼女はランチを食べる」

She eats (has, takes) lunch. (16 人正答)

これも正答率が 6 割と低かった。eat などの正しい動詞が使えない例はなかったが, 三単現を間違える解答が 5 人いた。こうした初級の英文は, 基本英文法の知識を必要としなくても読解ができる例であり, 読解するには問題はないが誤答により文法力の理解ができていないことが露呈した好例である。残りの誤答は lunch に冠詞をつけてしまう例である。She eats the lunch. と She eats a lunch. と書いた学生には, 基本例文の暗記に加え, 不可算名詞の指導を行う必要がある。具体的には不定冠詞の a は可算名詞につなげることを理解させないといけない。

英作文③「疲れたので, 寝る」

正答例 1: As I am tired, I will go to bed. (4 人)

正答例 2: I will go to bed because I am tired. (5 人)

正答例 3: I am so tired that I will sleep. (7 人)

正答率が高い。正答例 1, 2 では, 接続詞を When や Because にしている解答がありいずれも正解。「so~that 構文」を間違えずに使えた学生が多かったのは意外である。中高の英語授業で何度も目にしているからであろうか。読解も同じ語法を用いた文を繰り返し読むことで, 英作文にも応用できることを証明している。主に, 接続詞を使えないことが原因の誤答が多い。一文にまとめてしまう例として, I am sleeping tired, I am tired and sleep, I sleep because tired. (各 1 人) があり, 順序を間違える文と

して, I was tired so that I fall asleep. (1人)。語や語法を理解していない例もあった。さらに, I tired and sleep. (2人), I tierd so I sleep. (1人)。I was tired and sleep. (2人) のように時制の一致ができていない学生もいた。残りは I am going to go to bed for. (1人), 無回答 (1人) である。英作文を書いてもう前に, 同一文内で「SV, SV」と節が並ぶ際には文頭か文中に接続詞が必要である, ということを確認させるのだが, 実際に書かせてみると理解にばらつきがあり, さらに徹底させる必要性を感じた。

英作文④「机の上に猫がいる」

There is a cat (cats) on the desk (table). (14人正答)

The cat is on the desk. と書いた学生が5人いたが, 解釈の違いによるものと判断して一応正解にはしたが, There is the cat on the desk. (4人) は不正解にした。この英文は, 学生に定冠詞 the と不定冠詞 a との違いを教えるのには格好の材料である。実際に正解を書けた学生も, 口頭での質問の際に There is a cat. と There is the cat. の違いを説明できる学生は5人中0人であった。文例を覚えていて There is a cat. と書くのも決して間違っていないが, There is the cat. になると強調の意味が込められることを理解した上で a cat と書くほうが良い。残りの解答は, The cat is sitting on the desk. (1人), The cat stay on the desk. (1人), The desk on the cat. (1人)。

英作文⑤「郵便局はどこにあるか知っていますか」

Do you know where the post office is? (3人)

辞書を使わずに3分で解かせたので, 細かいミスも多く解答率は低い。構文は正しいが post office に冠詞がない文が2人, クエスチョンマークの記入ミスが1人いた。多かったのが, Do you know where is the post office? と書く例 (6人) と, Where do you know the post office? と書いて

しまう例（5人）。残りは Do you know で始めて where と post office をとだけ書いた文に、Do you know the post office? と文法はあっているが内容を間違えているものもいた。

疑問詞を用いた名詞節・副詞節 where the post office is が Do you know などに伴う場合、どうしても where is the post office のように疑問文の順序にしてしまう。この場合は従属接続詞 that の用法と同じと認識させたらよいと思う。例えば、I know that she is an artist. の that は主語・動詞を伴い名詞節を導く。that S.V. 節は I know の「目的語」の役割を持つことになり、その場合は必ず「that S.V」の順序でなくてはならないと指導する。同じように where, who, how, when も S.V の順序が続くと名詞節・副詞節を導くので、where the post office is は「郵便局がある場所」は名詞節になり、疑問文 where is the post office? 「郵便局は何処ですか」の where とは全く違う使い方をする다고 教えるとよい。

英作文⑥「彼女が結婚したという事実に私は驚いた」

正答例 1 : I was surprised at the fact that she got married. (0 人)

正答例 2 : The fact that she got married surprised me. (1 人)

正答例 3 : I was surprised to hear (the fact) that she got married. (0 人)

正確な文章を書くには文法知識と単語の正しい使い方を知らないと解けないので、かなり難問であったようだが、正答例 2 の解答があったのには驚いた。他動詞 surprise を 3 文型の形にして、無生物主語構文で作れた理由は、主語と述語動詞を明確にするようにという考え方を実行できたからであろう。英作文⑥は、surprise と marry の正しい使い方、時制の一致、さらには that 節が同格を導く従属接続詞になり the fact という抽象名詞を修飾する用法を理解していないと正解に辿り着けない。各解答には複数の間違いをしていた学生が多かったのだが、ここではミス の数を紹介するので、実施人数と合わない場合も生じる。ただ、白紙解答が一人いた。

授業を放棄していたわけではなく、正解の問題もあったので辞書なしでは全く対応できなかったのであろう。

他動詞 surprise を正しく使えない学生が 16 人いた。I was surprised that fact (6 人), It is surprised (1 人), I surprised at the fact (4 人), I was surprise (2 人), スペルミス (3 人)。surprise などの感情を表現する他動詞は構文として暗記させるのが効率が良い。人を主語にした際には助動詞 be に過去分詞 surprised を伴い, I am surprised at the news. になり, モノ (人以外) を主語にする際には助動詞 be に ~ing 形を伴い, The news is surprising me. になると説明もシンプルにしたほうが学生の理解も早い。前置詞 at を伴うことも説明よりも暗記させる。必要なことは辞書等の例文をまめにチェックさせることである。

他動詞 marry はほとんど正しく使えていたが, She got marry と書いたのが 5 人いた。この場合も She married か She got married と暗記させるのがよい。一人だけ I was surprised to hear that she was married. と解答していたが, she was married では, 過去結婚していて今は離婚している状況を予想させるので, 避けるほうが良いと指導した。

時制に関してはほとんどミスがなかったが, I am surprised to hear that she married. (1 人), I was surprised at the fact that she marry. (1 人), I was surprised to hear that she will marry. (1 人) などの誤答があり, 常に時制を意識させることが必要である。

最後に抽象名詞 fact と同格を導く that 節だが, “the fact that she got married” 「彼女が結婚したという事実」という表現ができたのは 28 人中 12 人であった。解答者の全員が, 同格の that 節を導く抽象名詞の使い方を知らなかったが, the fact that S.V. という形は認識していた。構文を知っていることである程度の英作文には対応が可能ということである。本来は, 関係代名詞の that と従属接続詞の that を学生に区別できるようになってもらうのが理想である。抽象名詞をつなぐ同格の従属接続詞 that と

関係代名詞の *that* の違いは、*that* 内の節が完全な文か先行詞を伴う不完全な文化で区別できることを例文にて学生に指導すべきである。筆者が講義で実際に学生に紹介したのは以下の例文である。

The rumor that he likes apples turned out to be an outright lie.

「彼が林檎が好きであるという噂は全くの嘘だと分かった」(従属接続詞)

The rumor that is going around turned out to be an outright lie.

「広まっている噂は全くの嘘だと分かった」(関係代名詞)

that 以下が 3 文型の「完全な文」と主語のない「不完全な文」で接続詞と関係詞の違いを指導した。当然読解でも役に立つ内容である。*that* の使い方をこの接続詞と関係詞からのアプローチで理解させることで、作文での誤用が減る。*the fact that she got married* を書けなかった学生の誤答は、共通して *that* の使い方を理解していないことが原因である。

誤用例 1 : I was surprised at that she got married.

that 節は名詞節か副詞節になるが、前置詞 *at* の目的語にはなれない。この文法ルールを知っていれば上記の文にはならないはずである。正解ではなかったが、I surprised to hear that she got married. と書いた例もあった。ただ、これを書いた学生は、*hear* が名詞だけでなく *that* 節も目的語として取れることはわかっていなかった。もう一つ、これは *that* よりも前置詞を理解していない例でだが、I was surprised at the fact of she got married. もいた。前置詞は名詞を伴い副詞節・形容詞節になることを理解するのは特に英作文作成には必須である。

誤用例 2 : I was surprised at the fact which she married.

これは関係代名詞と接続詞の *that* を混同している例である。書いた本人に、文法的には正しいが「彼女が *the fact* と結婚した」という意味になると確認させたが、*the fact that she got married* という表現をうろ覚えしていたことからくる誤用であった。

英作文⑦：「食べ過ぎると太る」（太る：gain weight）

正答例 1：If you eat too much, you will gain weight. (3 人)

正答例 2：Eating too much, you will gain weight. (2 人)

正答例 3：Eating too much makes you fat. (1 人)

本問は一番解答例が多様であったので、出来るだけ紹介したい。内容が正確に伝われば単文でも重文でも構わないし、「太る」は gain weight と始めに記入しておいたが、解答者の好みで変更も可能であると予め伝えておいた。尚、Too eat to gain weight, It is too to eat to gain weight, Gain weight because of eating a lot (各 1 人)、と文章として成立していないもの、さらに無記入が 3 名いた。

本問を困難にしているのは、主語に置く可能性のあるものが二つあること、即ち「あなた」と「食べ過ぎること」である。前者を主語にすると正答例 1 のように重文になり、後者は正答例 3 のように単文になる。正答例 2 のように分詞構文を使えるものもいた。仮定法を用いることはできるが「食べ過ぎる」という表現を使えない例として、If you eat more, If you eat something, If you many eat, If you too eat, (各 1 人) があり、さらに、文法はあっているが内容を捉えられない例として、I eat a lot of foods and gain weight. や You will eat too much to gain weight. と書いているのもいた。

単文で作った場合、助動詞と動詞が上手く使えないケースがあった。will be gain (3 名), become gain weight. (1 人) と gain を述語動詞として理解していない。原因として、始めに筆者がプリントにて「太る」= gain weight. と記載したことで、gain weight を形容詞として認識したことが考えられる。単文にした場合の主語であるが、正解例として Eating too much, (7 人), Overeating, (1 人), 誤答として Eating so much, To eat a lot, Eating over が各 1 人いた。部分的には正解しても一つも文法ミスをせずに解答できるのは困難である。本問は意図的に抽象的な表現にして、敢えて主語を明記しなかったことで、学生は日本語のリライトをする必要

が出てくる。つまり、「食べ過ぎると太る」を「もしあなたは食べ過ぎれば、あなたは太るでしょう」、あるいは、「食べ過ぎることは、あなたを太らせるだろう」にリライトすれば、主語と述語動詞を明確にして文章作成を容易にすることができる。短い文を扱う際にも、経験と国語力を要するこのような作業には繰り返しのトレーニングが必要である。

実践報告②

時期：2017 年 10 月

対象：都内理系大学生、Toeic スコア 350 以上が受講条件

人数：23 人、男女比 8：2

特記：全 3 問、宿題にして解答させる。

英作文①「皮膚に付着した酸は、即座に大量の水で洗い流すこと」

以下学生による解答例を記載する。始めに When などの条件節の使用はなるべく使わないように、加えて取扱説明書（インストラクション）調に仕上げるようにと指示した。

解答例 1：The acid that is attached to skin should be washed away with a large amount of water immediately.

解答例 2：Wash away your skin with acid immediately.

一週間かけて宿題にすれば辞書を使って適切な単語を選び、作成した英文の文法チェックができる。当学生達はそれが行えるようである。解答例 1 の具体的な指導として、まず「皮膚に付着した酸」とは特定の酸を示すものではないので、The acid よりも Any acid の方がよいということ、that is attached to でもよいが、that touches としてもよく、that is は省略できるということ。skin は無冠詞のままにせず、可算名詞には状況に応じて冠詞が使えないかを常に考えるように指示。この場合は the skin にする。

washed away は washed off でもよい。文体スタイルとしては、should be を使うと提案風になるので、取説では命令調に直す。解答例 2 は、取説調に命令文に仕上げてあるが、「大量の水で」の記載がないし、acid が無冠詞なのも良くない。「付着して」の記述も必要であろう。以上だが、二人とも良く調べて作成してあり評価したい。

添削例：Wash away any acid that touches the skin with a large amount of water immediately.

英作文②「ご請求のあった当ホテルのパンフレットを 3 部同封いたします」ホテルから郵送にてパンフレットが送られ、別紙にて一筆添えてあった状況。以下学生による解答例を挙げる。

解答例 1：Here is the three hotel pamphlets that you requested.

いささか書き方が乱暴である。文法的には Here is でなく Here are である。pamphlet では冊子や論文となり、ホテルのパンフレットはやはり brochure にしたほうがよい。the three hotel pamphlets はフォーマルな内容にしては雑であり、さらに三種類のパンフレットともとれるので工夫がある。ただ、「ご請求のあった」は that you requested でよい。こういう内容は辞書のみでは調べるのに限界があるので、一つ一つ添削を受け定型文を覚えるしかない。

解答例 2：We are enclosing three pamphlets you request with this letter.

書き出しはこれで充分であるが、やはり three pamphlets が気になる。「ご請求のあった」も you request よりも丁寧に that you have requested にするべきである。

上記の 2 文は「パンフレット 3 部を」の書き方を覚えておく必要がある。こういった表現は一度覚えてしまえばあとは応用が容易くなる。

添削例：Enclosed are three copies of brochures that you have requested.

この出だしのような定型表現は覚えさせすのが一番である。他にも

three copies of のような表現も同様である。

英作文③「願書は締切日までの消印が押されなくてはならない」

大学受験などの願書に記載されている内容を想定して助動詞などを決めるように指導する。

解答例 1 : Stamps should be put on your application by the deadline.

解答例 2 : Stamps should be postmarked on your application by the deadline.

添削例 : Applications must be postmarked by the deadline date.

動詞 postmark を使った解答例 2 はよく辞書等で調べてあると思うが、解答例 1 と同様「消印が」にとらわれて Stamps を使ったことが残念である。構文で postmark を使った構文等でチェックすれば stamps を使わなくても「消印を押す」という意味を持つことが分かるのだが。さらに、願書等の申込書では先方の指示通りに記入しなくてはならないので助動詞は must be がよいのだが、課題を出した学生 18 人のうち must be と書いたのは半数であった。この助動詞を使った英文スタイルは日本人学習者の弱点だと言われている。英文スタイルの違いは、工業英語や商業英語のテキスト等、明確に記載されている本で確認するしかない。

実践報告③

時期 : 2019 年 6 月

対象 : 都内大学生

人数 : 23 人

特記 : 自由英作文, 「好きなもの」をテーマに書く。

作文の課題を出すと、何を書いていいかと、書き出しに困るとの質問を

よく受けた。特に英検の作文問題にあるような、「日本政府はもっと海外からの移住を認めるべきか」、「地球温暖化の是非について」等の質問は、普段から考えているようなテーマではないので、書き出しから困難になるのは当然である。従って、筆者は書きやすさという観点から、学生に「好きなもの」をテーマに考えてもらった。さらに課題を出す際に以下の順番で書くように注意した。

1. 結論から書く、つまり「好きなもの」を明記する。2. それが何かを常識の範囲で説明する。3. 好きな理由を書く。4. 好きな対象と自分との出会い、エピソードを書く。5. 結論。「好きなもの」を今後どうしたいか。

以上のように予め指示しておくとしっかりと書いてくる。学生達に、好きなものの魅力を紹介するか、読者（筆者）に薦めるようにした。例えば、女性用ファッションブランドやファッション誌なら、他の商品と比較して何が魅力かを示し、映画や漫画なら、筆者に読んでもらうようにその魅力を書く。学生は作文を書くことで文章力に加え構成力も学べる。

以下は担当学生が実際に執筆した英作文の抜粋である。文法的に誤文であり、さらに一文が長くて分かりづらいので書き直しをさせて再度提出させたものが下に載せてある。文章全体の構成は、ジブリ映画が好き⇒『コクリコ坂から』がお気に入り⇒映画の説明⇒好きな場面（アジフライ調理）⇒主人公たちの情熱に共感、となっている。文法ミスもあるが、好きなことが読み手に良く伝わっている。この箇所は、文章を短く書くようにと断りを入れたうえで修正させた。このようにすれば短すぎると感じられるかもしれないが、少なくとも内容は良く理解出来て尚且つ文法ミスも少なくなる。始めのうちは単文で書かるのもやり方の一つとしてあるのではないか。

I like the scene where Umi who is the protagonist is making deep fried

Japanese horse mackerels looks delicious and whenever I watch this scene, I want to eat Japanese horse mackerel.

修正後

The main character of this movie is Umi. She is a high school student. I like the scene where Umi is making deep fried Japanese horse mackerels. It looks so delicious.

まとめ

英語の4技能の中でも特に「書く」技術は、文法・表現の点で教員からの直接的な指導を要すると考える。文章を「読む」という作業を基に得た文法的知識をもっているにもかかわらず、実際に英文作成を行うと本人も気づかない文法理解の欠如が見受けられる。具体的には中学生向けの英文法指導で学習した内容も、学生が英文を「書く」段階になると、読解力が平均以上ある学生に限って、三単現や時制のミスなどが多い。すなわち、学生が作成した英作文の中に基本文法のミスがあれば、指導を通じて文法力の定着が図れるのではないかと思う。

辞書を敢えて使わせないで英作文を作らせた実践報告①では、ある程度の時間をかければ、基本文法に関してはミスなく書くことが出来ると判断した。逆に日本語を書く感覚で英文を書くことと決まって間違いを起こす。She eats lunch. のような文でも常に文法には気を配らなくてはいけない。実践報告②においては、課題（宿題）にすれば高度な英文でも作ることはできる、但し単語の選択等には経験と構文暗記が必要であることが分かった。実践報告③では、構成と書きやすいテーマを提供すれば英文作成の経験がなくてもある程度の英文を書き、構成力も磨くことができ、添削によって文法力の定着も図れることは発見であった。英作文は、辞書を使用さ

せる機会と使用させない機会を設けることで、結果的に効率良く文法力と構文力がつけられる。

追記：以下は実践報告③で行った自由英作文の提出テーマ一覧である。対象が女子学生のみであるのでテーマに偏りがあるが、テーマは具体的であればあるほど書きやすくなると（「読書」「映画」などでなく）、始めに指示しておいたので、テーマはかなり多様性があり、内容がまったく被らなかったことは興味深い。趣味の細分化という現代の風潮を表しているのだろうか。

「花より団子（テレビドラマ）」、「青島俊作（テレビドラマの主人公）」、「JIN（BTS メンバー、K-POP）」、「Jessee（SixTONES のメンバー）」、「アイドル」、「Billie Eilish、歌手」、「リソット・ネエロ、漫画「ジョジョの奇妙な冒険」の登場人物」、「Kis My Ft2（アイドル）」、「ONE OK ROCK（歌手）」、「北信介、漫画「ハイキュー」の登場人物」、「HOSHI, SEVENTEEN（韓流アイドル）のメンバー」、「SnowMan（アイドル）」、「YZF-R25（ヤマハのオートバイ）」、「コクリコ坂から（映画）」、「山口百恵」、「中間淳太（アイドル）」、「駅伝観戦」、「ダンス」、「二宮和也（アイドル）」、「読売ジャイアンツ」、「クラリネット演奏」、「ダークモカチップフラペチーノ（スターバックスの商品）」、「GENERATIONS（ダンスグループ）」

参考資料

- 安井稔『英文法総覧－改訂版－』（荻原印刷，1996年）
篠田義明『英文書類や英語論文で必須の基本表現』（南雲堂，2015年）
葉袋喜郎『英語リーディングパズル』（東京書籍，2011年）
上田一三，他『スーパーレベルパーフェクト英文法』（ベレ出版，2011年）
中山裕木子『技術系英文ライティング教本－基本・英文法・応用－』（日本工業英語協会，2009年）